

## 平成24年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 日本マイクロコーティング株式会社  
 コード番号 5381 URL <http://www.mipox.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 淳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営管理本部長 (氏名) 折登 進

TEL 042-543-4711

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,290	1.4	30	39.3	2		60	
23年3月期第3四半期	2,322	5.4	22		71		103	

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 141百万円 ( %) 23年3月期第3四半期 189百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第3四半期	5.92	
23年3月期第3四半期	10.14	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第3四半期	5,526	3,691	66.2	359.23
23年3月期	5,663	3,823	67.1	373.09

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,657百万円 23年3月期 3,798百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期		0.00		0.00	0.00
24年3月期		0.00			
24年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,055	3.2	11		53		109		10.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続き、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	10,696,320 株	23年3月期	10,696,320 株
24年3月期3Q	515,148 株	23年3月期	515,028 株
24年3月期3Q	10,181,236 株	23年3月期3Q	10,181,301 株

#### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を完了しております。

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における事業環境は、東日本大震災の影響から緩やかに回復しておりますが、歴史的な円高に加えタイ国での洪水の影響もあり、引き続き事業環境は厳しい状況であります。

当社グループでは、グローバル戦略として各地域のニーズに合致した製品開発と事業展開を強化する「ローカルフィット戦略」の展開を継続しておりますが、第3四半期におけるタイ国での洪水の影響により、当社グループ売上の主力であるハードディスク関連市場において大きな影響を受けました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は22億90百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

損益面においては、売上原価ならびに販売費及び一般管理費の圧縮に努め、営業利益は30百万円（前年同期比39.3%増）となりました。

また、米ドルに対する円高の進行により営業外費用として為替差損26百万円が発生し、経常損失は2百万円（前年同期は71百万円の経常損失）となり、更に特別損失として固定資産除却損5百万円、減損損失15百万円、会員権評価損11百万円を計上した結果、四半期純損失60百万円（前年同期は1億3百万円の四半期純損失）となりました。

## 事業別売上高の状況

事業別売上につきましては、次のとおりであります。

## ・研磨関連事業

( ) ポリッシングフィルム売上高は、13億62百万円（前年同期比6.6%減）となりました。主要用途の一つであるハードディスク関連市場において、第3四半期でのタイ国の洪水の影響を受け、売上高が減少しました。

( ) ポリッシングリキッド売上高は、3億19百万円（前年同期比2.9%増）となりました。主要用途のハードディスク関連市場において、東南アジア向けは第3四半期でのタイ国の洪水の影響を受け、洗浄剤、スラリーの売上高が低調となりましたが、日本市場での売上が増加し、前年同期比における売上高は増加しました。

( ) ポリッシングパッド売上高は、2億61百万円（前年同期比18.2%減）となりました。主要用途のハードディスク関連市場において、第3四半期でのタイ国の洪水の影響を受け、ワイプテープの売上高が減少しました。

## ・機能性薄膜塗布事業

( ) 機能性フィルムの自社ブランド製品売上高は、75百万円（前年同期比646.3%増）となりました。当社オリジナルのハードコートフィルムにおいて、第1四半期に採用となった海外メーカーの携帯電話用で採用が継続し、売上高が増加しました。

( ) 受託製造売上高は、37百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

## 所在地別売上高の状況

所在地別の業績は、次のとおりであります。

## ( ) 日本

日本の売上高は、16億39百万円となりました。機能性薄膜塗布事業において、自社ブランドのハードコートフィルムの売上がありましたが、研磨関連事業ではハードディスク関連市場において第3四半期に発生したタイ国の洪水の影響、磁気関連市場では東日本大震災の影響が残っておりません。その結果、セグメント損失は84百万円となりました。

## ( ) マレーシア

マレーシアの売上高は、9億94百万円となりました。「ローカルフィット戦略」の最重要分野であるハードディスク関連市場の売上が、第3四半期でのタイ国の洪水の影響を大きく受けましたが、原価低減・費用削減を進めた結果、セグメント利益は94百万円となりました。

## ( ) 中国

中国の売上高は、5億31百万円となりました。「ローカルフィット戦略」の最重要分野である光ファイバー関連市場において、中国国内市場の売上が前期比増加しました。しかしながら、第1四半期での東日本大震災の影響と北米顧客側での当社製品の在庫調整の影響から、累計では売上高が減少しました。その結果、セグメント利益は5百万円となりました。

## ( ) 北米

北米の売上高は、3億2百万円となりました。「ローカルフィット戦略」の最重要分野である光ファイバー関連市場において、第1四半期での顧客側の当社製品の在庫調整から復調しておりますが、累計としてはその影響が残っております。その結果、セグメント利益は1百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 連結財政状態

## (総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は55億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億37百万円減少いたしました。主な内容は、現金及び預金の増加1億5百万円、受取手形及び売掛金の減少94百万円、有形固定資産の減少1億76百万円等であります。

## (負債)

負債の部は18億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少いたしました。主な内容は、支払手形及び買掛金の減少90百万円、未払法人税等の減少5百万円、賞与引当金の増加12百万円、流動負債その他の増加98百万円、借入金の減少20百万円等であります。

## (純資産)

純資産の部は36億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億32百万円減少いたしました。主な内容は、四半期純損失の計上60百万円、為替換算調整勘定の減少80百万円等であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、66.2%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の業績予想については、平成23年11月11日付「平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しました業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)」を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、1株当たり四半期純損失であるため、これによる影響はありません。

#### 【追加情報】

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	872,492	977,635
受取手形及び売掛金	845,597	750,677
商品及び製品	202,516	250,346
仕掛品	384,462	365,761
原材料及び貯蔵品	138,074	126,039
繰延税金資産	14,188	14,062
未収入金	30,039	22,960
その他	28,347	72,780
貸倒引当金	5,129	2,386
流動資産合計	2,510,589	2,577,878
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	5,462,921	4,690,758
機械装置及び運搬具	1,359,663	1,132,290
土地	1,053,575	1,053,575
その他	420,819	349,409
減価償却累計額	5,214,055	4,319,773
有形固定資産合計	3,082,925	2,906,261
<b>無形固定資産</b>		
その他	19,707	4,950
無形固定資産合計	19,707	4,950
<b>投資その他の資産</b>		
繰延税金資産	2,931	1,881
その他	54,452	42,373
貸倒引当金	6,644	6,644
投資その他の資産合計	50,739	37,610
<b>固定資産合計</b>	3,153,372	2,948,823
<b>資産合計</b>	5,663,962	5,526,701

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	288,457	198,397
短期借入金	858,000	858,000
1年内返済予定の長期借入金	243,089	138,720
未払法人税等	28,669	23,610
賞与引当金	11,853	24,460
その他	76,921	175,193
流動負債合計	1,506,991	1,418,382
固定負債		
長期借入金	202,855	287,126
退職給付引当金	111,403	112,407
繰延税金負債	-	1,693
その他	18,870	16,089
固定負債合計	333,130	417,316
負債合計	1,840,121	1,835,698
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,998,700	1,998,700
資本剰余金	2,953,700	2,953,700
利益剰余金	637,304	697,609
自己株式	481,314	481,329
株主資本合計	3,833,781	3,773,461
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	35,275	116,040
その他の包括利益累計額合計	35,275	116,040
新株予約権	25,335	33,580
純資産合計	3,823,840	3,691,002
負債純資産合計	5,663,962	5,526,701



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	2,322,022	2,290,466
売上原価	1,383,320	1,432,391
売上総利益	938,702	858,075
販売費及び一般管理費	916,510	827,159
営業利益	22,191	30,916
営業外収益		
受取利息	348	308
受取配当金	648	-
受取賃貸料	13,614	15,910
その他	4,326	8,469
営業外収益合計	18,936	24,688
営業外費用		
支払利息	28,707	25,999
為替差損	77,442	26,827
その他	6,154	5,008
営業外費用合計	112,304	57,835
経常損失( )	71,176	2,231
特別利益		
固定資産売却益	685	3,022
貸倒引当金戻入額	2,263	-
新株予約権戻入益	3,049	-
特別利益合計	5,998	3,022
特別損失		
固定資産除却損	849	5,897
減損損失	8,791	15,679
会員権売却損	5,584	-
会員権評価損	7,750	11,380
その他	942	-
特別損失合計	23,919	32,956
税金等調整前四半期純損失( )	89,097	32,165
法人税、住民税及び事業税	13,127	25,887
法人税等調整額	1,014	2,251
法人税等合計	14,142	28,139
少数株主損益調整前四半期純損失( )	103,239	60,304
四半期純損失( )	103,239	60,304
少数株主損益調整前四半期純損失( )	103,239	60,304
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,519	-
為替換算調整勘定	83,699	80,764
その他の包括利益合計	86,218	80,764
四半期包括利益	189,457	141,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,457	141,069
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## 【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。  
 なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
減価償却費	220,428千円	163,126千円

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	日本	マレーシア	中国	北米	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	771,758	957,913	252,633	339,717	2,322,022		2,322,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	795,113	150,545	364,010	15,970	1,325,640	1,325,640	
計	1,566,871	1,108,458	616,643	355,688	3,647,662	1,325,640	2,322,022
セグメント利益又は損失( )	61,187	55,111	33,521	2,641	24,805	2,613	22,191

(注) 1 セグメント利益又は損失( )の調整額は、セグメント間取引の消去、固定資産及びたな卸資産の未実現損益の消去による調整額であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	日本	マレーシア	中国	北米	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	906,595	890,445	218,565	274,860	2,290,466		2,290,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	733,399	103,896	313,304	27,763	1,178,364	1,178,364	
計	1,639,995	994,341	531,870	302,624	3,468,831	1,178,364	2,290,466
セグメント利益又は損失( )	84,329	94,716	5,343	1,217	16,949	13,966	30,916

(注) 1 セグメント利益又は損失( )の調整額は、セグメント間取引の消去、固定資産及びたな卸資産の未実現損益の消去による調整額であります。

2 セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、将来における具体的な使用計画がなく、将来の利用見込みが極めて不透明な遊休資産について、当該資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。回収可能価額は、正味売却価額により測定しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において15百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。